

公民館通信



2021年
6・7月号
No.296

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491



新聞紙と 段ボールが大好き



ひと♡ネットワーク



永山公民館障がい者青年教室講師

鈴木 美耶子さん

2mのクジラと小魚を作ってパルテノン多摩に飾った!? 材料は布団カバー!? どんなクジラなんだろう?? 他にも...! 「海の世界」と名付けて展示した200匹近い海の生き物、個性豊かな案山子たち、大小のゴミ袋で作った色とりどりのクラゲ等々と作品の話は続いた。工作素材としては「新聞紙と段ボールが大好き!」と笑顔で力強く主張し、「きれいじゃない方が好き、すすけるものが面白い。」とくすくす笑った。

毎年行われる「多摩市障がい者美術作品展」。昨年は会場変更で規模が縮小されながらも30回目を迎え、鈴木さんが講師を務める「障がい者青年教室」の作品も毎年展示されてきた。永山公民館主催の同教室は、主に知的障害を持つ18歳以上の青年が、ほぼ月一回のペースで集まって活動続ける学びの場。創作活動をはじめ、遠足やクリスマスなどの楽しい行事もある。優しく思いやりのある彼らは、何歳になっても気持ちは青年のまま。中央大学サークル「青い鳥」や一般ボランティアとともに活動を支えている。

「楽しくってしょうがないから続けてきた」と語る鈴木さん。「障がい児放課後教室指導員募集」の記事だった。その時に応募した3人で公民館通信No.92の一面を飾ったことも、青年たちと仲良くなつて楽しんで、ホッとして癒されて。だから「気持ちだけ若いの」と大笑い。昨年度、長年の貢献に対し多摩市教育委員会表彰を受けた。

育ちは阿佐ヶ谷。戦後のベビーブーム、そして青春時代は学生運動真っ盛りの世代だ。大好きな油絵を学ぼうと美大に進学。卒業後は東京都公立中学校の美術教員になった。夫の仕事の都合で東京を離れたため辞めざるを得なかったが、今でも子ども達との3年間は宝の思い出だ。その後は、自宅で絵画教室を開いた。「青年教室」では一人ひとりの作品の面白さに惹かれると言い、「個性豊かな味わい深い作品に出会う度に喜びを感じてきた。」と目を細めた。

みんなおいでよー！

子育て応援！



保育室開放デー

永山公民館では、就学前のお子さんとその保護者の方を対象に、自由に遊べる場所として、保育室を開放しています。

出合いの場、交流の場としてはもちろん、広場デビューの方も安心して過ごせる場をつくっています。

開催日…6月21日・7月12日

日程…毎月第3月曜日

※7月は第2月曜日に開放します。(ご注意ください)

時間…10時～16時

(12時30分～13時30分は消毒作業を行います。)

※永山公民館3階窓口で受付

～あそびついでにの広場～

ピーかぶり

子育て先輩ママのコーディネートが常駐し安心して自由に遊ぶこと

ができます。親子でゆったり過ごしてみませんか？

開催日の午前と午後1回ずつ親子で楽しめるミニイベントも行っています。

開催日…6月10日・24日

7月8日・22日・29日

日程…原則第2・第4木曜日

時間…10～16時

(12時30分～13時30分は消毒作業を行います。)

※イベントは10時15分と13時45分からの2回

【共通事項】

- ・新型コロナウイルス感染対策のため、換気・消毒作業等を行っています。
- ・入場無料
- ・託児はありません。保護者同伴でご利用ください。
- ・事前予約不要(それぞれ定員があるため、入場できない可能性もあります。ご注意ください。)



以前の体験講座の様子

ヘルプ永山 なつやすみ体験講座

今年も、小学生のみんながワクワクする特別な講座を準備しています！興味のある講座に参加してください！詳細については、たま広報 7月20日号 をご確認ください。

講座名	日時	場所	定員
【水彩色鉛筆で描いてみよう】 ～絵カードを作ろう！～	8月3日(火) 10時～12時	講座室	6人
【夏の自然まるごと観察会】 ～学芸員さんと一緒に さえずりの森を探索しよう！～	8月6日(金) 9時10分～ 11時30分	さえずりの森(永山 駅近く) 講座室	15人 (保護者含む)
【クラシックギター体験講座】 ～さわってみよう、弾いてみよう！～	8月17日(火) 10時～12時	講座室	7人
【夏休み親子消費者スクール】 ～楽しくつくろう！ My オモシロ貯金箱！～	8月21日(土) 1部:13時～ 2部:15時～	講座室	各部14名

※講座の内容は、状況により変更になる可能性がございます。あらかじめご了承ください。

文庫連会員がお勧めする本

『わたしのワンピース』

えとぶん／にしまきかやこ こぐま社／1969年

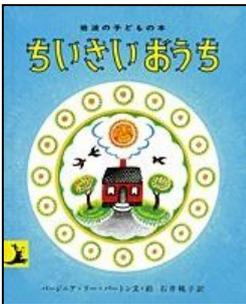


「まっしろなきれ ふわふわって そらからおちてきた」で始まる『わたしのワンピース』は出版から52年たった今でも本屋さんの店頭に並び、日本を代表するファンタジー絵本としてロングセラーを続けています。1978年に多摩市立図書館主催の絵本作家の講演会で出会った絵本の一つで、長女が2、3歳の頃から読み聞かせた思い出の絵本です。子どもたちが好きな繰り返し要素と西巻さんのデザイナーとしての先見性に惹かれ、3代にわたって大好きな絵本となりました。まっしろなきれ（紙）に自分のオリジナルのもようを描いてみるのも楽しいかも！

多摩市文庫連絡協議会 コアラ文庫 青木洋子

『ちいさいおうち』

バージニア・リー・バートン／ぶんとえ いしいももこ／やく



岩波書店／初版 1954年

この本と初めて出会ったのは、まだ字も読めない幼児の時にもらった本の一冊でしたが、この本が私の中で輝いてきたのは、大学で環境問題を学んだ時からです。自然を守るためにはどうしたら良いのか悩んでいた時に再度の出会いがあり、一つの考え方の方向を示してくれたのです。自然豊かな緑の中に建っていた“ちいさいおうち”の周りが、開発によって大都会に変わってしまい、その真ん中で忘れ去られていきます。しかし再発見されて、自然の緑の中に戻っていく事ができました。この絵本は、自然と人間との共生が大切な事だと教えてくれました。小さな子どもの本などと思わないで、読んでいただけたら嬉しいです。

多摩市文庫連絡協議会 コアラ文庫 花岡三枝

関 戸 公 民 館 講 座 案 内

【家族問題講座】

シリーズ「子どもたちの性と自分らしい生き方」

第1回「多様な性と子どもたち ～ 心のさけびが聞こえていますか ～」

講師:高橋裕子氏(元都立高校養護教諭・元関東学院大学「性の健康学」非常勤講師)

——子どもたちの性と生についての意識を知り、子どもの心から届く言葉や行動について一緒に学んでみませんか。——

日時:7月4日(日曜)14:00(開場13:30)

会場:関戸公民館7階ギャラリー 対象:関心のある方

定員:40人(申込先着順) 費用:無料

保育:あり。定員4人

(6月24日(木曜)午後5時までの申込先着順、満1歳以上、未就学児対象)

申込:電話で関戸公民館 ☎042-374-9711へ



楽ちゃんの歩き倒すぞ！

With チャリンコ&ウォーク

～多摩センター 石仏めぐりのまちあるき～ Vol.1



皆さんは、多摩市内に果たしてどれほどの石仏が点在しているか、ご存知でしょうか。あちこちに石仏があることは、公園巡りをしていた頃から気づいていましたが、今回、学芸員の橋場万里子さん（No. 291の表紙にご登場）が解説として参加された「まちなか石仏巡りウォーキングコース」の資料を手にすることができ、いそいそと探検に出かけることにしました。皆様をめぐりめぐり石像の魅力発見への旅へいざないましょう。

それでは下記の地図に沿って、①～⑩まで歩いてみます。

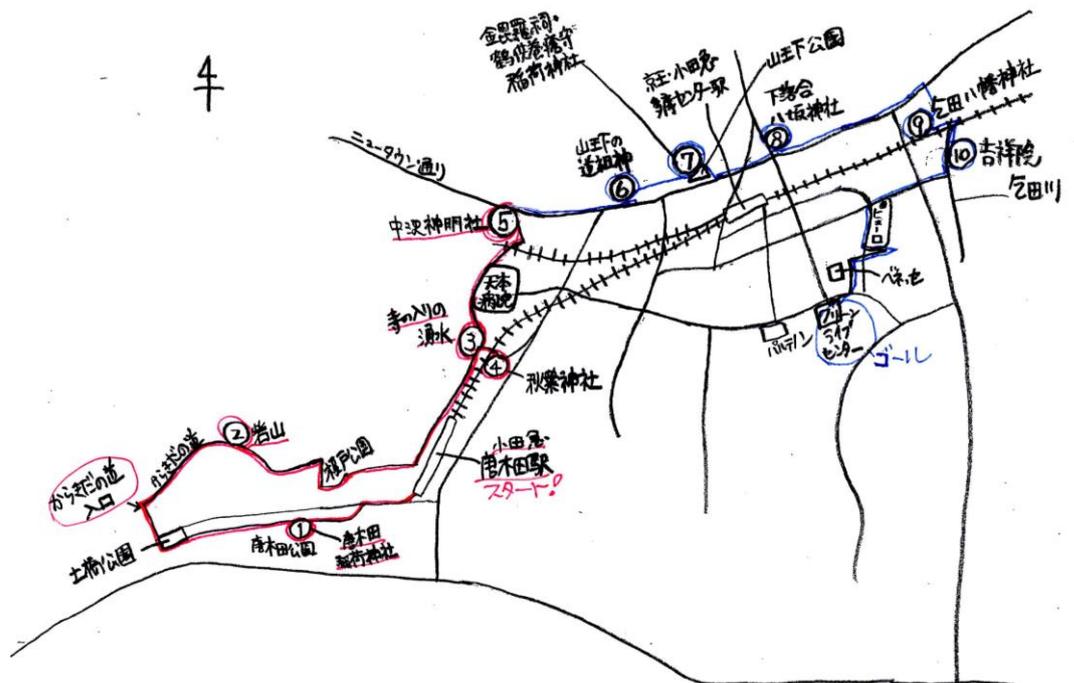
① 小田急唐木田駅前の女性像からスタート。横断歩道を2つ渡り、小田急線操車場沿いの細道を進むと、唐木田公園横の『唐木田稲荷神社』へ。お堂の左手には、妖怪・一反もんのような五角形の可愛い記念碑が。その隣には、赤い屋根の祠。中に7体の石像。左から3つ目は双子!! お堂の右手には6つの石碑が。左から3番目が、おてて6本の可愛いミニ観音さまのレリーフ♪ 石仏の多くには唐木田三家のひとつ、豪農、横倉氏の名が記されているらしい。

さて、この稲荷神社を通り過ぎて先へ進む。右手に土橋公園が見えたら、公園を通り過ぎて右折。さらに進むと『からきだの道 西端入口』が♪ むむ、2つに分かれているぞ。どう見ても右の車道がからきだの道に続いているように見える。で



はこっちの左の怪しげな緑の小道は何だ？ とりあえず左も制覇したくてうずうず。好奇心を抑え切れず、細い道を進んで行くと、なんと行き止まり！大階段の前の門には硬く鍵がかかっていた。なぜだ？ なんかわからないけど、満足。引き返して、右の車道を進む。おお、やっぱりからきだの道だ。

すぐ『ヤエザクラの原っぱ』に着く。ヒナギク？ マーガレット??が咲き乱れる広場。さらに進むと『からきだ百本シダレ』広場に到着。ここから、からきだの道はぐんと山道に入る。ヒナギクに誘われるかのように、チャリンコを放置して木の階段をどんどん上がると、たちまち山の中。うわー、鳥の声が心地いい。た



地図（参考：まちなか石仏巡りウォーキングコース）

ちまちズボンに細かいひつつき虫がペタペタ。

さらに進んで行くと、不意に茂みでガサゴソと音が！鳥？もっと大きい音のような。恐怖。まさか熊?!ま、まさかね。「まくらからくま」「まくらからくま」回文を唱えながら、自らを勇気づけてみたりして。

ふと、左手の山側が高い塀で囲ってあるのに気づく。その向こうは何なんだろう。ムクムク好奇心。がけを登って隙間からのぞいてみた。ああ、ゴルフ場か。突然、ほっこりベンチ、と書かれた四角い木のベンチが出現。作者名も表記。何の変哲もないただのベンチだが、何か癒される。しばらく座ってみる。



『尾根の径』と書かれた看板前を通りかかる。ここから見る右手の街並みがステキ。と、一面、タンポポだらけになった。この甘い匂いは何だろう。『お花見広場』に出た。ああ、ここ、桜が満開の時期に来たかった！桜は終わってて、ツツジはまだだし。残念。でも、結構いろんな花が咲き乱れているものだ。山道と言えども、ずっと木の階段が作ってあって、歩きやすい。

②山道をもっと進むと『砦山(とりでやま)』と書かれた一角に着いた。案内板や東屋はあるが、思ったような観光スポットでもなく、ただの山道ではと思い始めたが、実はここ、歴史的な場所で、地元の人からは「大の谷戸」と呼ばれていたそう。



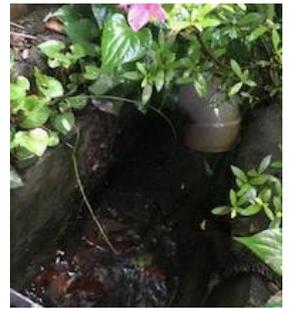
ここに「唐木田の隠し砦」と称される烽火の中継所が築かれており、八王子城の火急を知らせる烽火が上がったものの、番兵は酒盛りしていて気づかず、八王子城は落城したという伝承が。なんとも可笑的いけど悲しい話だ。



『砦山』を降りると車道に出た。草花園だ♪ここにも東屋があり、色とりどりの花が咲き乱れる。わあ、極楽浄土みたい。ここで一旦、チャリンコを取りに、今来た道を取って返す。『ヤエザクラの原っぱ』まで、さっさと歩け

ば山道を 12 分ぐらいか。ただ、寄り道しながら歩くので、その数倍はかかったが(笑) わっ、ムカデ！山道に落ちてた。生きてるのか？怖くてさわれない。今気づいたのだが、家の中でムカデやゴキブリを発見した瞬間って、なんであんなに身体中を恐怖が駆け巡るのだろう。屋外では、退治しなくていいから、笑ってサヨナラと言えるから、そこまで怖くないだろうか。

③さて、無事にチャリンコに再会、車道を走ってあっという間に草花園を通り過ぎたらすぐ左折。ドラマの舞台にでもなりそうな大邸宅がズラリと並ぶ中を走ると、アスレチックの充実している榎戸公園だ。公園を突っ切ってさらに進むと小田急線に突き当たる。右に唐木田駅が見える。左折して小田急線沿いに数百メートルも進んで行くと、いきなり水音が。あった！これが『寺の入りの湧水』だ。車道の左に、からきだの道へ上がる小さな階段が現れ、階段の左右には、ほとんど気づかず通り過ぎてしまうくらいに小さく、なんともかわいらしくちょろちょろと湧き水が！「寺の入り」がどの寺を指すのかは今では謎らしい。うーん、詳しく調べてみたい気持ちがむくむく。



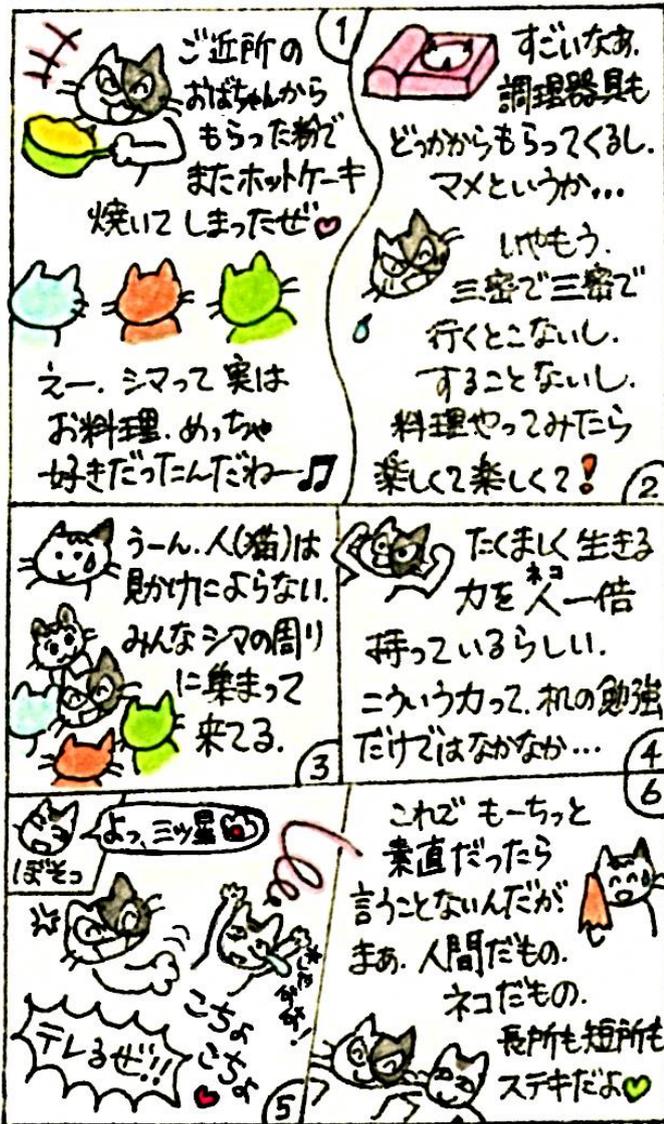
④湧水のすぐ裏手が『秋葉神社』だ。そびえ立つ階段を登ると、右に真っ赤な「中組稲荷神社」左に「本堂」が。そして稲荷神社の手前右に、「御嶽神社」の祠と、もっと小さな祠と、石碑たちがいくつも。御嶽神社の祠の中には、わあ♪ お地蔵様が8人！1人は大人、7人はちいちゃい子。一人一人違う顔。よだれ掛けが可愛いなあ。ここ、3つの神社が同じ敷地内に同居しているという、なんとも珍しい神社で。本堂の左には、ちっちゃいおうちのような石の祠が。のぞき窓は逆ハート。誰が作ったんだろう、こんな可愛い石像。本堂と稲荷神社の間には、赤い屋根の、これまた小さな祠。その中に、なぜかお石様が1つ、鎮座してまつられているのだ。昔、三本松に住む古狐を焼き殺してしまったら、上落合に火事が次々起こったため、あわてて火伏せの神として秋葉神社に祈りを捧げたんだそう。



ああ、いろんな謂れがあるもんだ。多摩の歴史にどどん興味わいて来たぞ。というわけで、チャリンコ探検は、次号に続くのであった。

季節風

生きる。 —永山の楽ちゃん—



木々の葉薫る頃、甥っ子の結婚式に参列した。 コロナ禍において、延びにのびた日取りの設定には、当人はもとより親族も気が気ではなかったと思う。結果的には遠方親族の参列や職場の方々の参列はなく、双方の学生時代の友人と家族のみとなったが、長らくこうした席から遠のいていた叔母の私にとって、小さい頃の賢く可愛らしい甥っ子を思い出しては、感激ひとしおだった。

そして、結婚式定番のクライマックスである両親にあてた手紙。。。彼はこの中で、「僕の前では、喧嘩したところを見たことがない両親、知らないところでは喧嘩していたのかもしれないけれど(笑)、見守ってくれた仲の良い両親を目標に・・・ありがとう」と。彼らを見ていた私の涙腺は崩壊した。。。

人生にはいくつもの節目(ふしめ)が訪れ、結婚もまたそのひとつ。節目(ふしめ)の語源は竹・・・竹はいくつもの節があって空洞の幹と幹の間を節目(せつもく)と言うそう。日常の小さな出来事の一つ一つの区切りを節目(せつもく)、節目(せつもく)の中の大きな区切りが節目(ふしめ)と表現され、竹は節目が多ければ多いほど根が太いそうだ。そのことから、たくさん節目(喜びや悲しみ、そして失敗や苦勞など)を経験していくことで、強く丈夫な竹=人(人生)となっていくのかもしれない。

その節目を重ね、あらたな一歩を踏み出した彼らの晴れ姿を見ながら、私自身の節目も振り返る機会となった。自分の親、子ども達やたくさんの人とのかかわり、これまでの思い出が走馬灯のように回り、そして今も回り続けている。彼らのような晴れ舞台はもうないだろうが、日々、健康でしっかり一歩を踏みしめながらたく丈夫な人生を目標に、心あらたにゆっくりと人生を楽しみたいと思えたひと時だった。

(は)

☆ 編集後記 ☆



☆ ペットの可愛いワンコ・キツプ君。わが家の状況を察してか無駄吠えせず騒がず、とっても良い子で助かっています。家族全員の心の癒やし、大事にするからのんびり幸せな一生を送ってね!今も私の横でお昼寝中だよ〜ん。(今)

☆ 秀樹の命日3日前に、なんとギックリ背中?! 背中全面がこむら返りで動けず30分。もはやここまでか?と救急車を覚悟したが、娘のくれた痛み止めと保冷剤が効いたか。その後は毎日おびただしく流れる秀樹の曲探し。とても追い切れない数のリクエストに涙。

☆ 友人が「最近子猫を飼い始めた!」と、かわいいサバトラ猫の赤ちゃん画像やら動画やらがインスタグラムで流れてくるのに毎日キュンキュン癒されています (す)

☆ 最近心地いい風の吹く夜が増えましたね。あつという間に梅雨がきて夏がくる。あ、ランニングシューズ・・・全然履けてないや・・・ (ひ)

☆ 6月は紫陽花。花言葉は移り気?! 謙虚や団らんも!! (月)

- ☐ け定規
- ☐ り
- ☐ やーぷペンしる
- ☐ にく
- ☐ んねんひつ
- ☐ よがみ

